

ニンジャスレイヤー

volume 3

NINJA SLAYER

～ラスト・ガール・スタンディング(二)～

Last Girl Standing

忍殺

NJSLYR

原作✦ブラッドレー・ボンド＋フィリップ・N・モーゼズ
漫画✦余湖裕輝　脚本✦田畑由秋
原作翻訳・漫画版監修✦本兌有＋杉ライカ
キャラクターデザイン✦わらいなく＋余湖裕輝

NINJA SLAYER

Kadokawa Comics A

ニンジャスレイヤー 3
～ラスト・ガール・スタンディング(二)～
漫画：余湖裕輝
脚本：田畑由秋
KCA
角川

Kadokawa Comics A

NINJA SLAYER

ニンジャスレイヤー 3

Last Girl Standing

～ラスト・ガール・

原作：ブラッドレー・ボンド＋フィリップ・N・モーゼズ



9784041016749



1920979005808

ISBN978-4-04-101674-9

C0979 ¥580E

定価：本体580円(税別)

発行 株式会社KADOKAWA

KADOKAWA

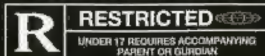




THIS COMIC HAS BEEN APPROVED FOR

ALL JAPANESE

BY NINJ@ ENTERTAINMANT



Kadokawa Comics A

Twitter@njslyr_ukiyoe



ニンジャスレイヤー⑩ ~ラスト・ガール・スタンディング(二)~
ISBN 978-4-04-101674-9



原作第一部屈指の人気エピソード【ラスト・ガール・スタンディング】

ヤモト・コキに迫る危機!

Kadokawa Comics A

ニンジャスレイヤー Wasshoi! 完全タノシイ祭り!! 第2弾!!

※詳しくは裏面をご覧ください。※応募締切:2014年12月15日(月)(当日消印有効)

「ニンジャスレイヤー フロムアニメイシヨン」2015年始動

漫画:余湖裕輝 脚本:田畑由秋

KCA

角川

原作:ブラッドレー・ボンド+
フィリップ・N・モーゼズ

465-3
書店



全ニンジャ殺すべし!!!

NINJA SLAYER

ラスト・ガール・スタンディング #3

原作☆ブラッドレー・ボンド＋フィリップ・N・モーゼズ
漫画☆余湖裕輝　脚本☆田畑由秋
原作翻訳・漫画版監修☆本兌有＋杉ライカ
キャラクターデザイン☆わらいなく＋余湖裕輝















彼女たちの向かうタラバー歌カニは　さながらシャボン玉めいた…

幻想の御殿

CONTENTS

原作✧ブラッドレー・ボンド+
フィリップ・N・モーゼズ
漫画✧余湖裕輝
脚本✧田畑由秋
原作翻訳・漫画版監修✧本兌有+杉ライカ
キャラクターデザイン✧わらいなく+余湖裕輝



ここはトコロザワ・ピラーの
トレーニング・フロアである

もはやショーゴーに用意された
訓練用クローンヤクザは全滅

全身を駆け巡るZBR注射
めいた強壮感覚!

それでもショーゴーは
無限に湧いてくる力と
暴力衝動を
持て余していた

ドーモ
ショーゴー＝サン

チッ

ズザッ!!

どうやらギリギリ
仕上がったな　エエッ?

ドーモ
ソニックブーム＝サン

渋々オジギ

なんだ?　不満そうじゃねぇか

こんなどえらい施設で
トレーニングまでさせて
やってんだぜ　殺さずになぁ

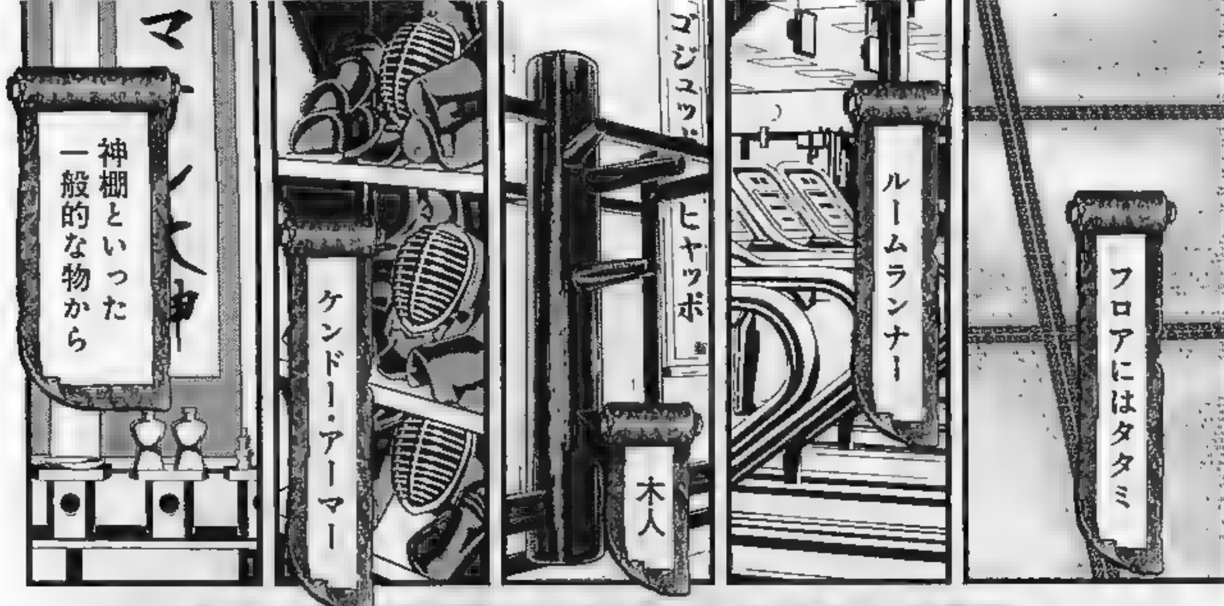
少しは
感謝しろよぉ

ボン!!

頼んだ覚えはねぇよ

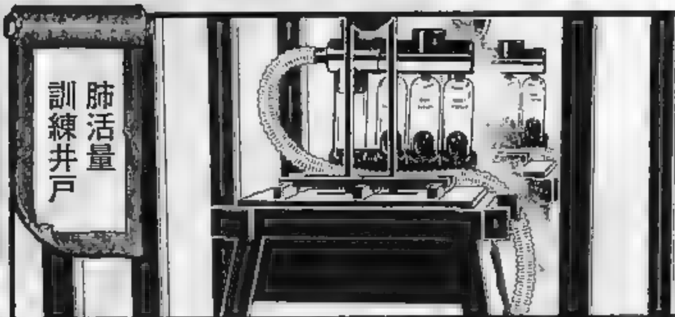
実際ショーゴーは
力ずくで連れてこられ

過酷なザゼン・
トレーニングを
強制されていた

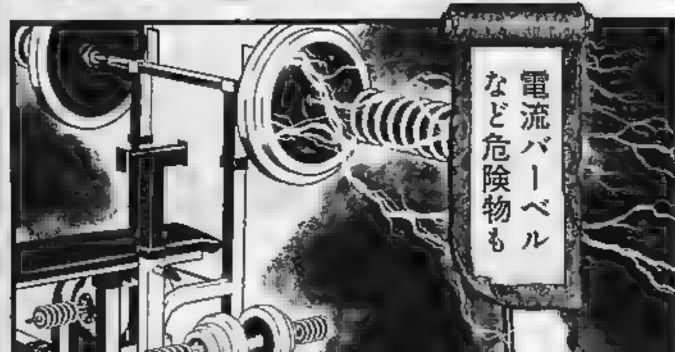

フロアにはタタミ
ルームランナー
ゴジュツ
ヒヤッポ
木人
ケンドー・アーマー
神棚といった
一般的な物から




重ラバー製
ダルマ


肺活量
訓練井戸


そして鏡壁面には自己啓発的な文言!
ときめきがつかめない


電流バーベル
など危険物も

天井のブッダデーモンの見開く八つの目がトレーニーを決して油断させない!!

さらに別室には口に出すのも憚られる

残虐訓練用障害物が多数設置されている!!!

ソウカイ・ニンジャのニュービーはこの訓練場で己のニンジャソウルを馴染ませ

同時に身体能力を鍛錬

ニンジャ新陳代謝によって

短期間のうちに冷酷なカラテ戦士の身体を手に入れるのだ!

気に入らねぇ
いずれこんなふざけた組織は利用するだけけしてブチ壊してやる
ニンジャの力を手にした彼は自殺を試みる前とはまるで真逆だ
気に入らない者の生命力を奪い取るたびに
身体は癒やされ
力は増し
心に憤怒が渦巻き
生きる意志が湧いた
邪魔はさせねぇ
もうアンタだって殺せるかもだぜ
冗談までクソみたいだなぁ エエッ？
スーサイド＝サンよぉ

スーサイド？

そうよ お前のニンジャネームだ

俺様がゴッドファーザーだぜ ありがたく思えよ

自殺（スーサイド） お前を言い表すなら この単語しかねぇからな

エエッ？

不思議と腹は立たなかった

ある意味真実だからだ

……

だが これからは違う 何もかも奪って衝動のままに生きる

このアフロを弱者の網膜に刻みつけてやる!



それじゃとっとと行くぜ　スーサイド＝サン

初ミッションだ

お前は俺様の邪魔にならねぇようにしてせいぜい貢献しろよ？

……っ

とっとと　ニンジャ装束を着な

あー着れないいんだっけか　エエッ？





「こんな事は万に一つの確率」

…と 研究者も首を捻る

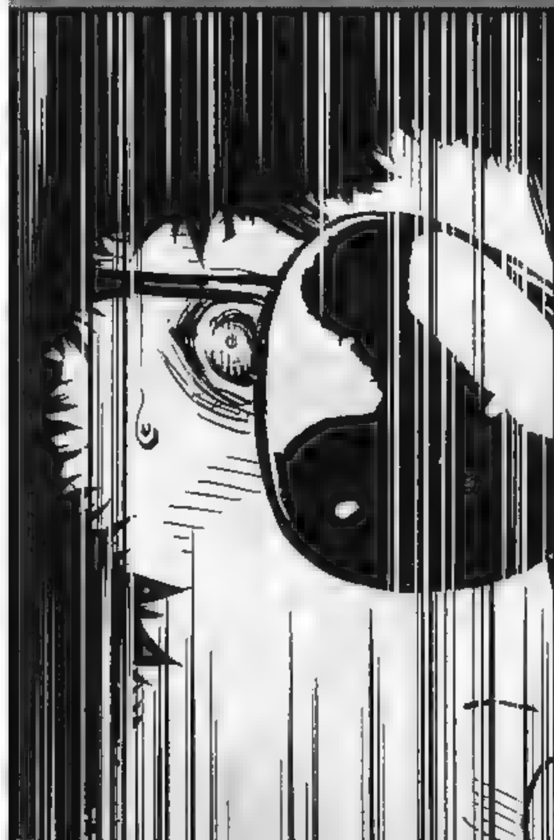
ニンジャソウルが装束を受け付けないのだ

ニンジャ装束とショーゴーが認識した瞬間 それをボロボロに崩壊させ

エネルギー光に還元吸収してしまう







ニンジャだと？
そいつが!?

お前の情けない自殺騒ぎをソウカイヤは調べた
巻き添えになったこのガキも生き延びてたのさ
……

なんの因果か二人して同時にニンジャにとりつかれた挙句
国境を越えてネオサイタマの同じハイスクールに転校とはなぁ？

こいつもお前同様やらかしたんだよ
上手く切り抜けちゃいるがそれでアシがついた
しかも
こいつの人生もお前同様カラッポだ
…………
……知った事じゃねぇ…

よォし 行くぜ!
楽しい楽しい
スカウトの時間だ!!!

カラオケ・ステーション タラバー歌カニは

歌い放題カニ食べ放題でトップシェアに躍り出たカラオケチェーンだ









画期的食べ放題システム！

いっぱい来ちゃう

ご注文 KANI 押す

カニ食べ放題

クローンカニの危険性は最小限だ

ダイジョブダッテ！

良い天気メンテナンス

ありがとう ございましたー

カワイイイ!

次 私だ!

歌いたい曲なかなか見つからないよね

ううん

みんなアタイに気を遣ってくれてる…

うん

うん がんばろう

一生懸命 部活でオリガミを折って みんなに少しでも…






…ゴメン……
ちょっとトイレに


パタン……
ドーモ


ショーゴーです








部屋の中から
マチの歌が
漏れ聞こえる

アタイに用なんでしょ
…わかるんだな
わかる
あの時 目があったよね
あなたがヤンクを殺した時


……俺は

わからなかった
あんたも…
ニンジャになっていたなんて






…………
俺は
ただ…
お前にっ…


「ポーン！ 五階ドスエ」
エレベーターの電子マイコ音声だ
ブッダファック！時間切れかよっ


今から話す事 わかる限りわかってくれ！
ソウカイ・シンジケートがお前をスカウトに来る
いいか！
つうか 来てる！
拒否権はねえんだ
俺は入るしかなかった


でもお前は俺と違う
お前には…
ズダッ
ズダッ
スーサイド！スーサイド＝サン！

待ちくたびれて眠くなっちまうぜ！
ガキは居たかぁ？
おお？ 居たかスーサイド＝サン
そいつだ そいつ

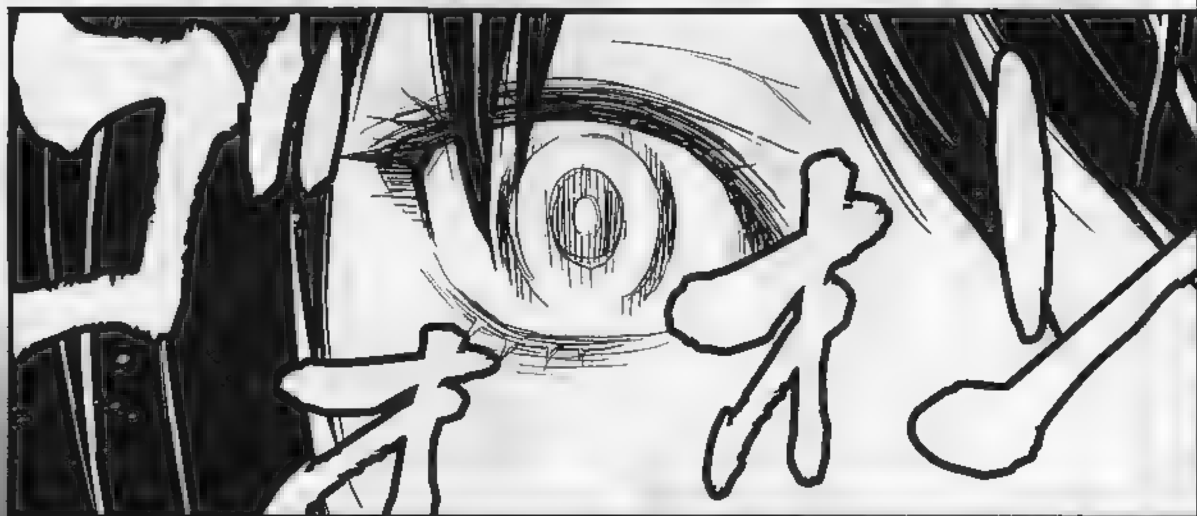


説明は聞いたか？
お迎えに来たんだよ
お前を一人前のニンジャにしてやる
一人前のソウカイ・ニンジャにな





親殺しの
ガキにもな！



ヤモトは血液が逆流するような感覚を味わった


ゴオオン

「過去が今、私の人生を収穫に来た」










OKするか死ぬかだ
もっとも死ぬ時は
その前に楽しませてもらう




…ヤモト＝サン

俺はただ一言謝りたかった
俺のせいだ……
すまなかった


ヂェ
ッ



ヤモト＝サン！ とにかく行けッ！

エ…

行けッ！

スーサイド！

てめエエエ




俺が殺る!!!
ザッケンナコラー!

カラテ・ニュービーの小僧がッ

テメェのジツは
モータルにしか効かねぇ…

グワッ

なっ…に!?

こいつッ…
ニンジャソウル
を……ッ





早く！ 早く行け！

いつまで保つかわからねぇ……ッ

行けよ！


!!?
火事だ！早く逃げて！


エレベーターはダメ
奥の階段へ！










四階
三階
二階


エントランス・ロビー
お客様 会計がまだ…
火事です！ 早く逃げて！
アイエエエエ!?

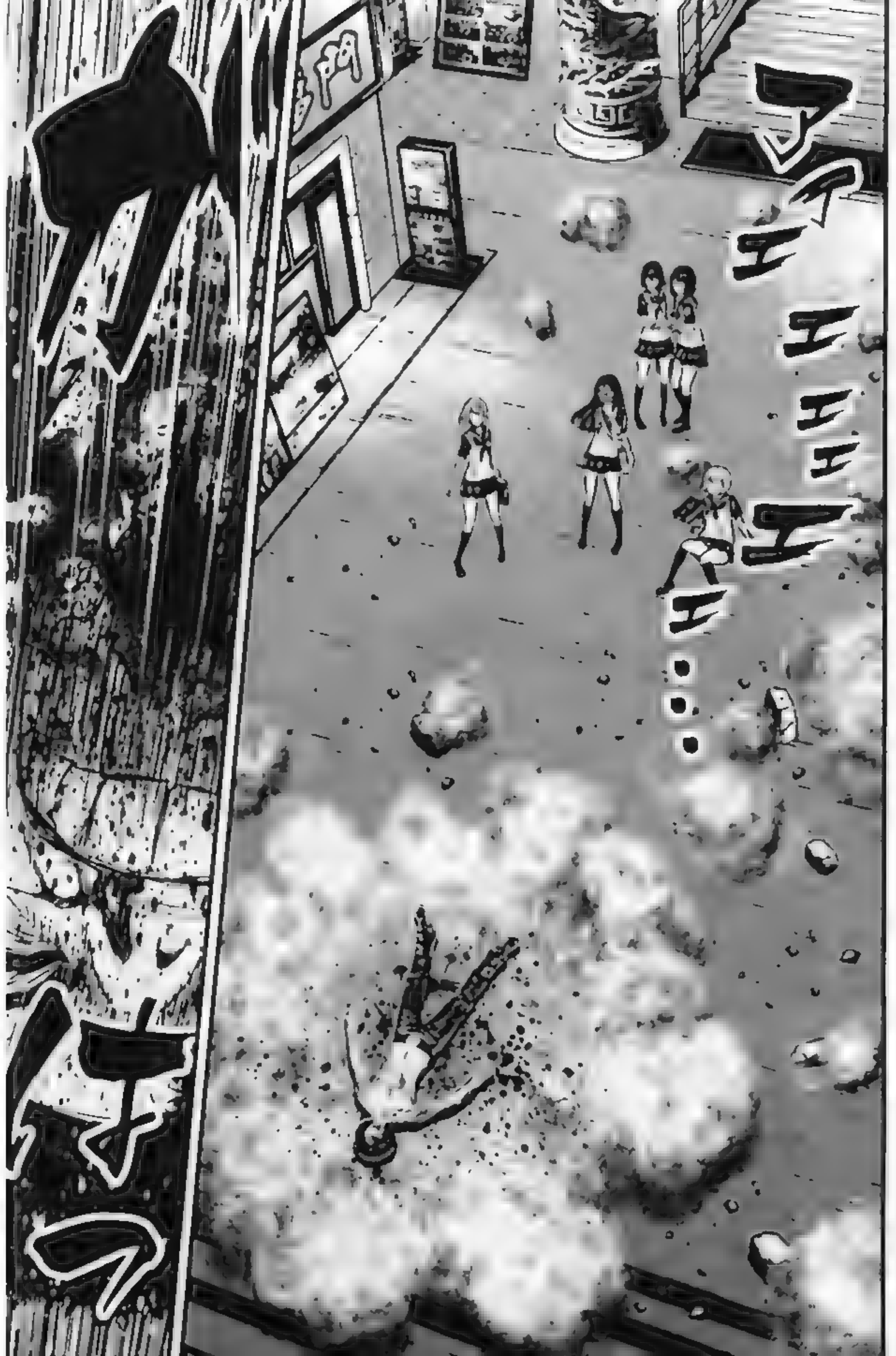



ハァ
ハァ


ドガァッ






アアエエエエエエ・・・





ヤモト＝サンの友達たち？

あ…

こいつは同じクラスの…

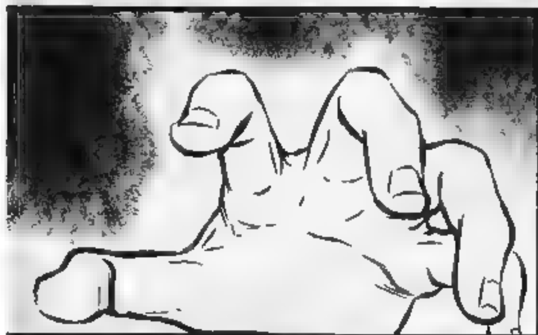
…いや 名前はどうでもいい

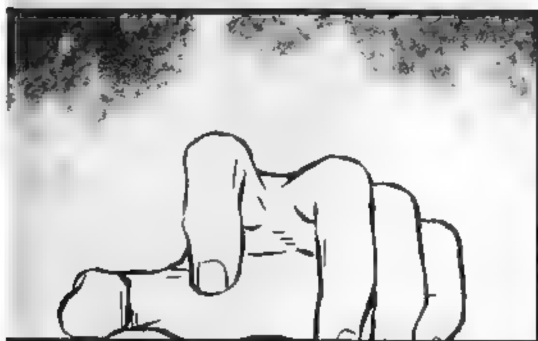
どうせ こいつらの生命を奪って

俺のこの傷を……


パンク・ニンジャが与えた
極めて利己的なジツ……
ソウル・アブソープション・ジツ










やめた

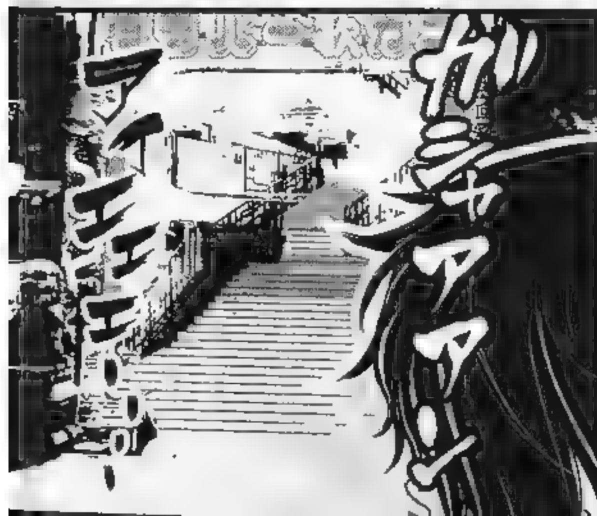
ヤモト=サン
あんたには友達がいる
俺とは違う
だからダメだ
ソウカイ・ニンジャなんて…
……
…くだらねえ

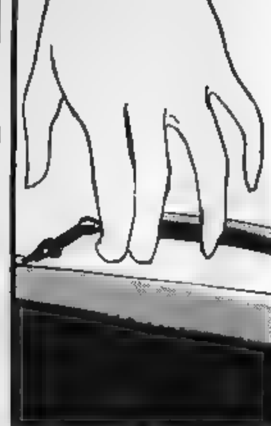
…言えなかった言葉を言おうとしたが　ほとんど声にならなかった

彼の意識は途絶えた……











ドッ
バサァア

逃げて！


ショーゴー＝サンは？
それに火事とか……
逃げて
アタイに任せて
でもっ
NINJA SLAYER




アサリ＝サン！




アサリ＝サン……
…大丈夫
皆をお願い
…ちゃんと
帰るから…

また明日ね

コツン。

また明日会おう!

NINJASLAYER

ラスト・ガール・スタンディング #4

……うん……わかった……ヤモト＝サン……




いい感じに
潰れてるな　エエッ
スーサイド＝サン

よう
逃げなかったのか？
見上げた度胸じゃねえか
エエッ？


ドーモ…



ソニックブーム＝サン
ヤモト・コキです
風に煽られ
和紙がヤモトの
周囲を舞う

それらがひとりでに折りたたまれ
ツルやイーグル
エイや飛行機の形をとる！
サイキックか
そいつでやる気なのか？
ガキのくせに
エエッ？
だがサイキックのニンジャなんてのはな
ソウカイヤにも
ザイバツ・シャドーギルドにも幾らでもいるんだ
今も昔もニンジャはカラテを極めた奴が上を行く
身をもってわからせてやろうじゃねえか…

ノーカラテ
ノーニンジャ
やってみろ！



イヤーッ!

読者の中にニンジャ動体視力をお持ちの方はおられるだろうか?

そうヤモト=コキには微かに見えた!

拳の残像

中空にパンチしただけなのだ!

しかしハヤイすぎるパンチが強力な衝撃波を生じさせた！

その余波は

右

右後方物をも破砕！

これぞソニックカラテ!!!

見たか！ガキめ

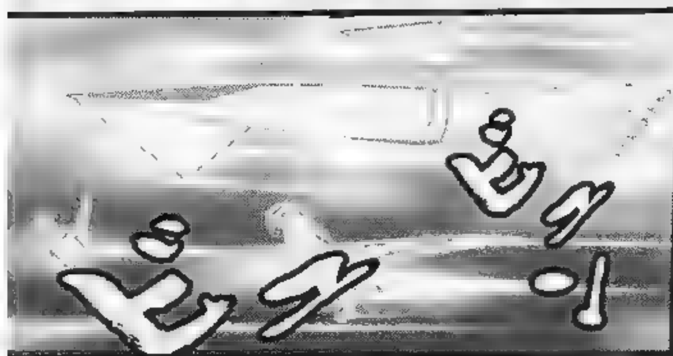
これがニンジャのイクサ…

意に介さず！

さらなるオリガミが戦闘的形状に折りたたまれる！





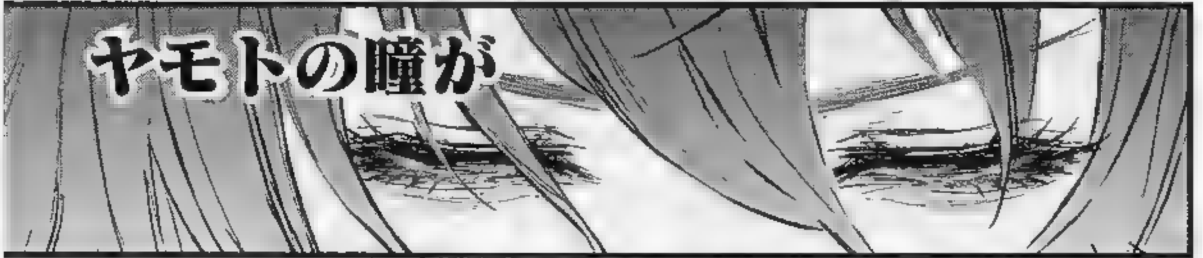





チッ







桜色の

ニンジャソウルを燃やす

導かれるように
オリガミは急旋回

追尾ミサイル
めいて上昇！


オトナを
ナメるなよ……

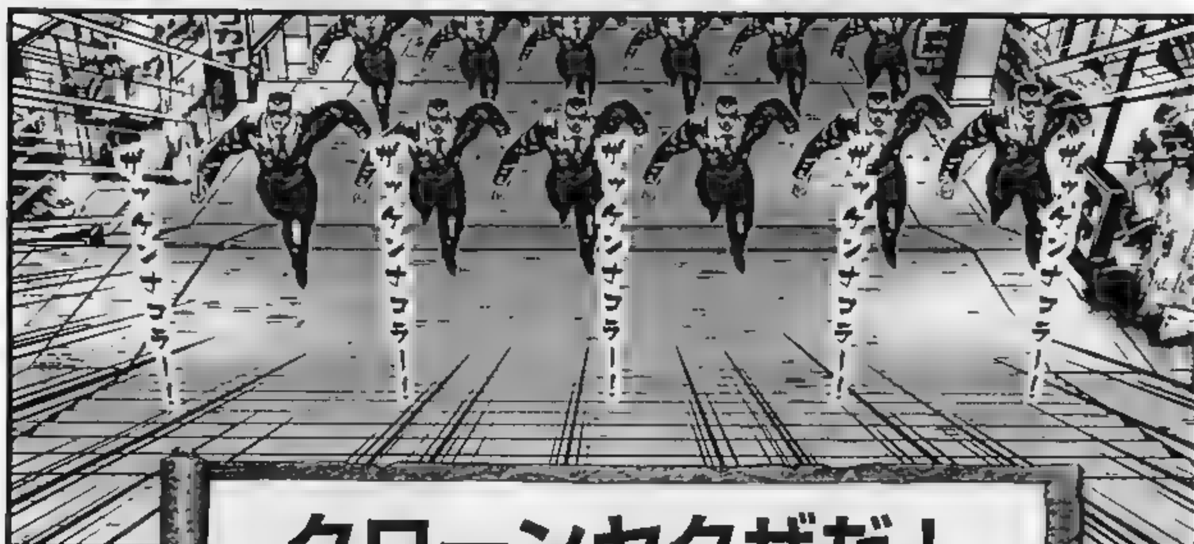

!




光り輝く紫色の煙が噴き上がる
携帯ノロシ装置を起動したのだ


これは待機中の手下に向けた
ザッケンナコラー！


ザッケンナコラー！
ザッケンナコラー！
一斉攻撃の合図！


ザッケンナコラー！
ザッケンナコラー！
ザッケンナコラー！
ザッケンナコラー！


クローンヤクザだ！













これこそ 冷徹に成熟した組織の思考だ!














行けぇ!!!

だが もはやオリガミが
アウト・オブ・アモーだ!


ザッケンナコラー
しかも増量！
多勢に無勢！


肉薄！







なんたる修羅場インシデントか!!

そして

おお……見よ!

謎の原理で構築された
スカーフめいた布が

鼻から下を覆いつつある!


これがヤモトのメンポ(面頬)なのだ!



ザッケンナコラー!

イヤーッ!

グワーッ!

ザッケンナコラー!

イヤーッ!

グワーッ!

ザッケンナコラー!

イヤーッ!

グワーッ!

路地を駆け抜けると
そこは退廃ホテル街

アイエエエ!

ゴメン
ナサイ!

差し迫った状況下であるが
ここで退廃ホテルという
ものについて 読者諸氏に
説明せねばなるまい

これは男女が性的行為を
行う際に利用する
ほとんど日本独自の集合
モーテル・システムである







ドッソイッ…

アヤアアア

グワァ!?!







フレンドリーファイア!!!

アバーッ

インガオホー！





ドッソイッ

ガチ

平坦

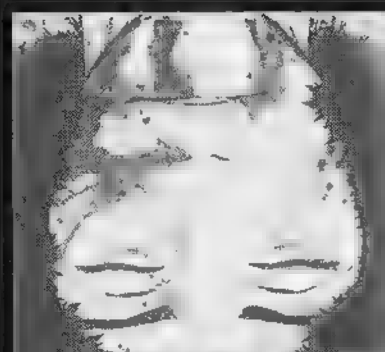
ガチ

ファック・アンド・サヨナラオラー!!

ドドドドドド











アタイは死ぬわけにはいかない
敵を全員倒してアタイは帰る
アサリのところへ帰る!

帰る？

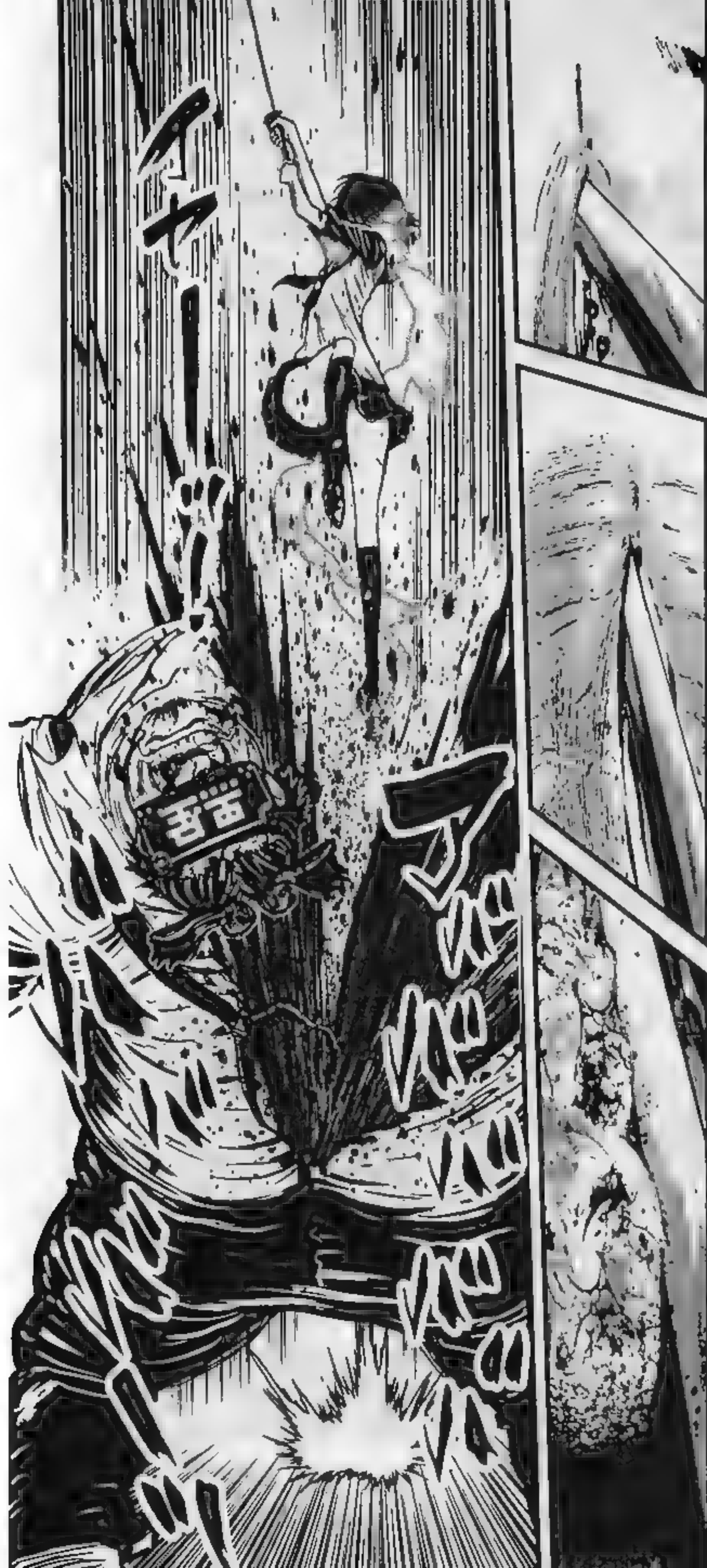
どうやって？
こんな奴と殺し合ってるアタイが
これだけの事をして
どうやって
今までの生活を？





不穏なニンジャソウルがカタナを洗い

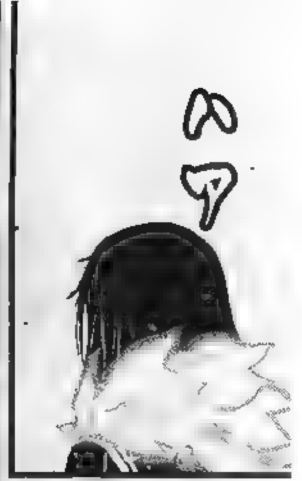
血脂は蒸発して危険に輝いた!







うらぶれた
飲み屋屋台街だ


ハァ


ハァ


ハァ
ハァ


駆けずり回って良い運動になったか？
ザッ…
ザッ…
ザッ…
忌々しいオリガミ無しでどこまでやれるか見てやろうじゃねえか


エエッ？


もう一度言う
シンジケートに来いよ　ヤモト＝サン
ゴゴゴゴゴ


ザワッ
ガタッ
ガタタ
ニ、ニンジャ？
ニンジャナンデ!?


店主や客が
道路へまろび出て
走り去る
AAHHHH!
DNAに刻まれた
ニンジャ存在への
恐怖が
そうさせるのだ


ソウカイヤが
有効利用して
やるってンだよ
何の役にも
立たず
何の存在理由も
ねぇ　お前をよ


嫌だ!
アタイは
空っぽ
じゃない!

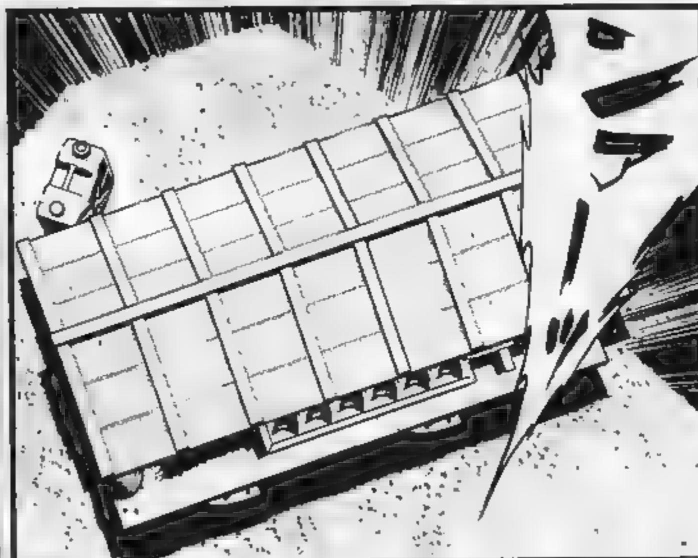

じゃあ…
死にな!


イヤ
ソニック
カラテ・
パンチだ!


ン…
ア…ッ

イヤーッ!

ソニックカラテ・
踵落としだ!

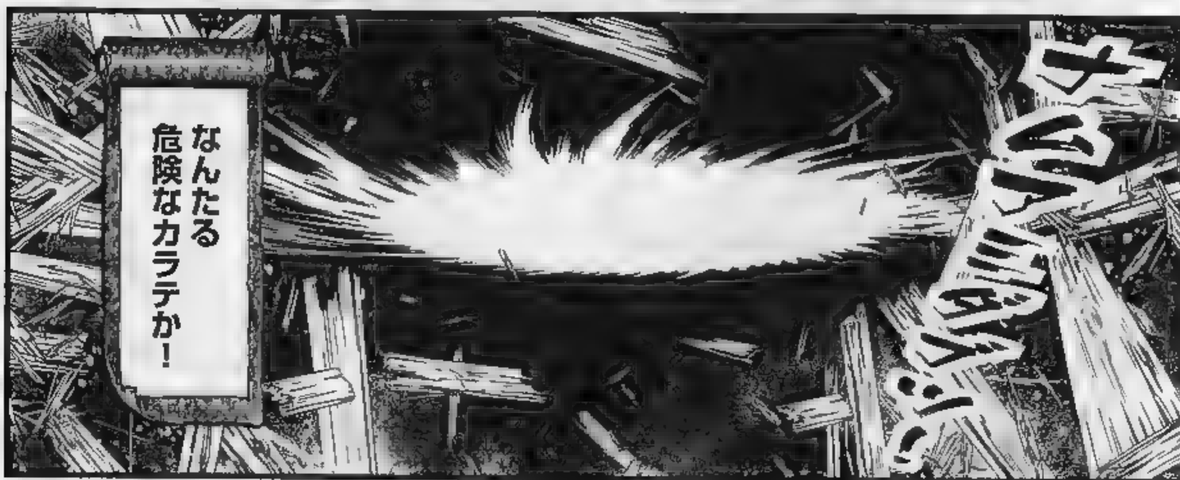


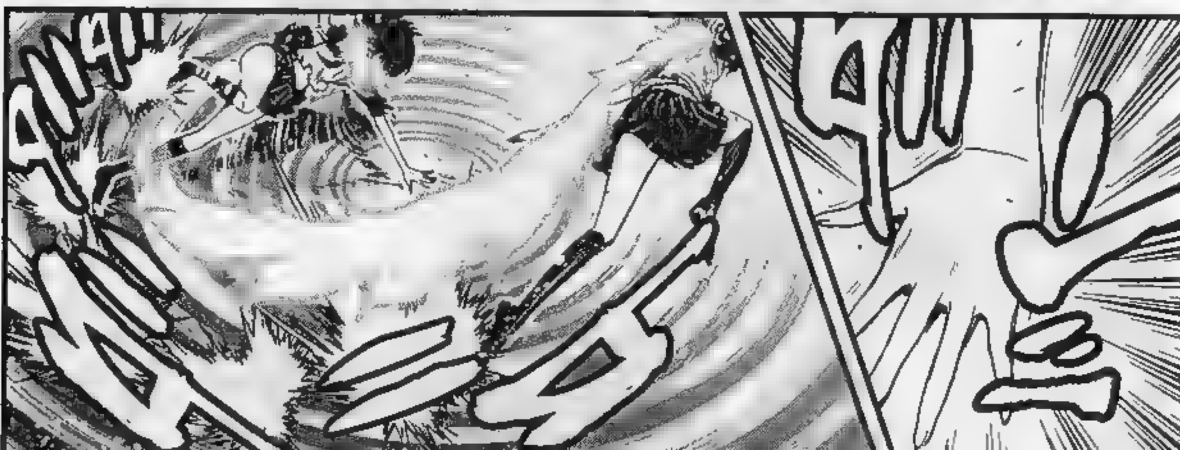


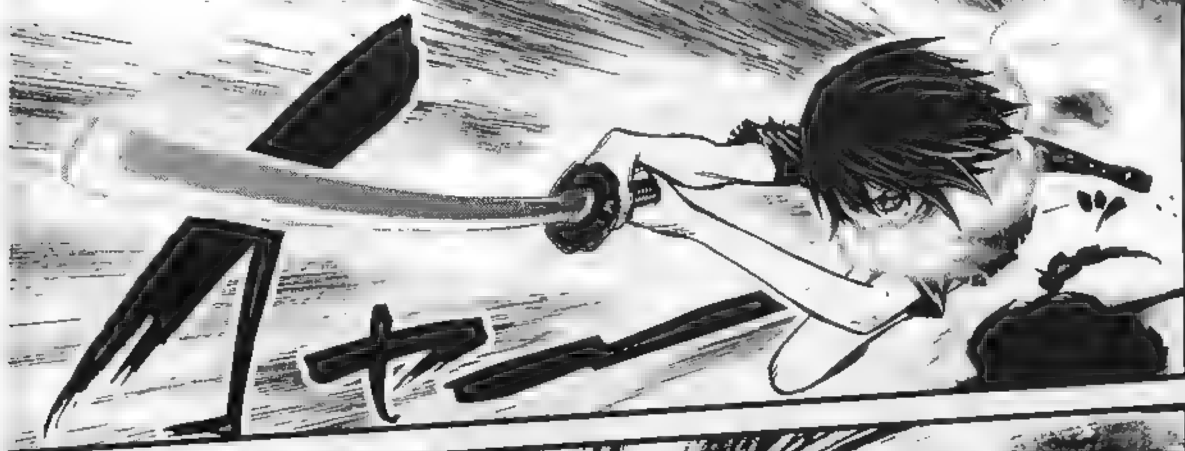


ソニックカラテ・後ろ回し蹴りだ!

イヤーッ!









ソニックカラテ・チョップだ!



これがカラテの差って奴だ

エエッ?

ニンジャ反射神経で辛くも防御姿勢をとってはいたが

ドガッ!

未熟

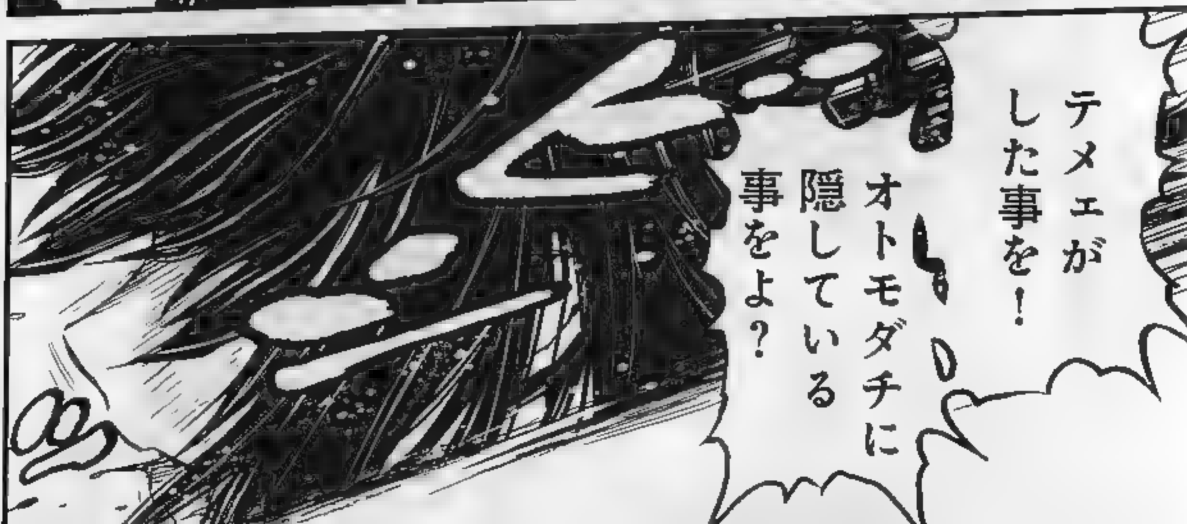
衝撃波は容赦なくダメージを与えた

顔からマフラーが解けて落ちる……


その瞳に燃えていた
桜色の火はもはや無い


調子に乗り過ぎると
こういうザマになる
パァン
スーサイドは
死んでも
わからなかったが
エエッ？
親殺しのクズが
ユウジョウ？
笑わせンな！


テメェのような
クズが生きる道は
ソウカイヤのニンジャ
以外にねぇんだよ
エエッ？
謝って
みろよ？


テメェが
した事を！
オトモダチに
隠している
事をよ？


い　嫌だ……

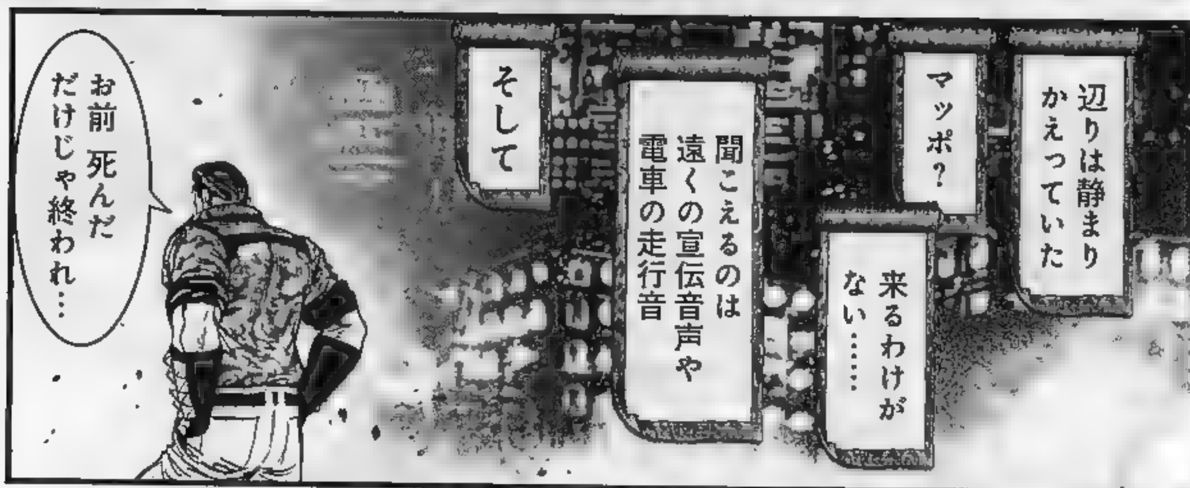



気にいらねえ答えだなそりゃあ


ドガアアッ




いたぶり抜いて
爆発四散
しねぇように
衰弱死させて
リー・アラキ行き
決定だ


辺りは静まり
かえっていた
マッポ？
来るわけが
ない……
聞こえるのは
遠くの宣伝音声や
電車の走行音
そして
お前 死んだ
だけじゃ終われ…


ズルッ！
ズルズルズルッ！


終われねぇ…


ズズルッ！
ズルズルー！
おいコラ
ウルッセーゾ
コラー！
スッゾ
オラー？

ニンジャが近くにいるのを知りながら逃げないだと？

なっ…

テメエはっ

ドーモ はじめまして

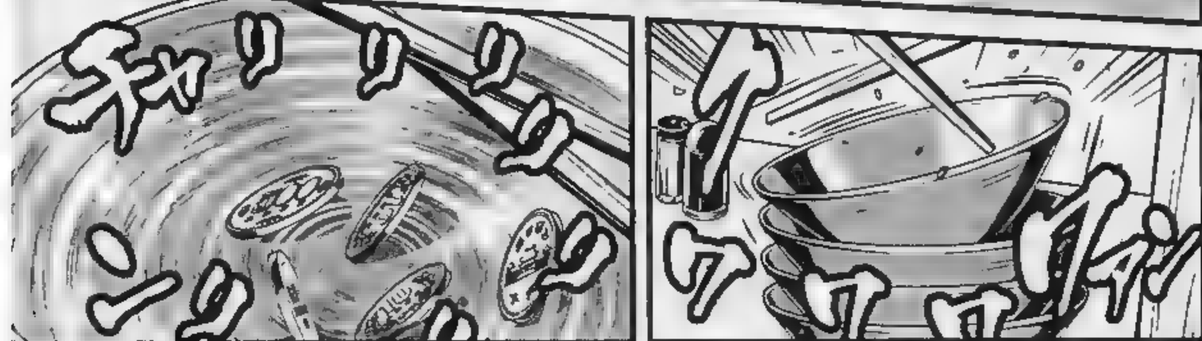
ソニックブーム＝サン


ニンジャスレイヤーです
おちおち食事もできんな　この街は

NINJA SLAYER

赤黒のニンジャ装束

ヒュ



ソウカイ・ニンジャで一人として知らぬ者はいない！

テメエ……

悪夢の具現めいた恐るべきそのメンポには禍々しい書体の

テメエエエ……

二文字！


ニンジャスレイヤー
NINJA SLAYER
ラスト・ガール・スタンディング #5



……
イラッ
…チッ

ドーモ　ニンジャスレイヤー＝サン
ソニックブームです
ザン

テメエ どうしてここに！
ズダッ
何故 俺を知っている！
ズダッ
当然オヌシを殺しに来た
状況判断だ

ン……
…ア……


私は常に貴様らソウカイヤの狼藉を監視している
ノロシなど……
私を大声で呼んでおるようなものだ
案の定
街中を走り回るクローンヤクザ




あれだけ騒いでおきながら私に理由を求めるとは
おめでたい奴よ
……っ
そして何故オヌシを知っているかと訊いたな


『ソニックブーム』
『ソウカイ・シックスゲイツ』
『ソニックカラテの使い手』
ピラッ
『スカウト部門』
『元ヤクザ・バウンサー』





そしてこのメモはもう要らなくなった

今ここで殺すからだ





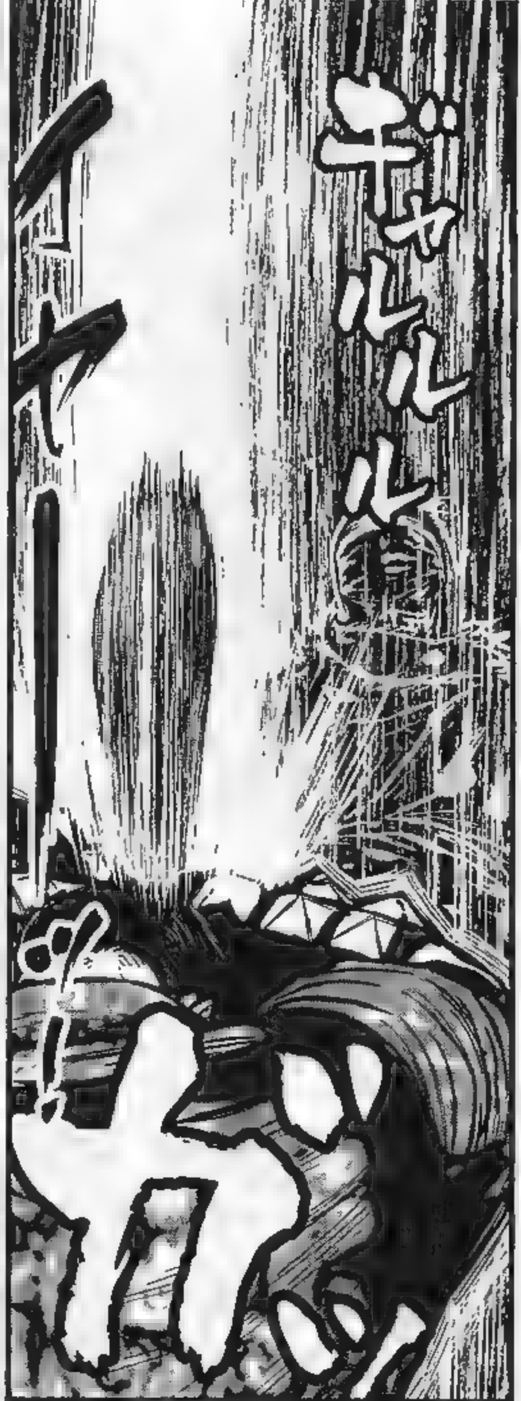
テメェこそ　生きて帰れると思うなよ
テメェの首にはバカバカしいほどの
金額のインセンティブがついてるぜ
俺様のソニックカラテを　そのツラに叩き込んでやる





が！

身長の三倍の高さでジャンプ回避！

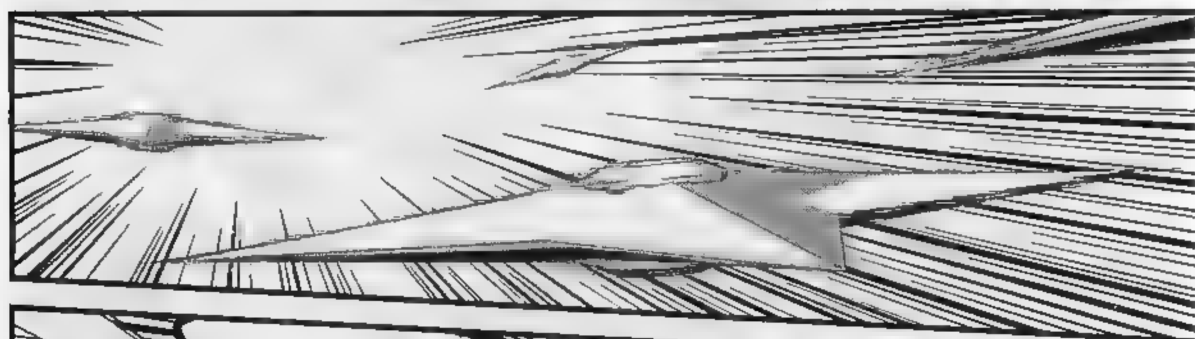

ギャルルル


踵急襲！
強烈!!





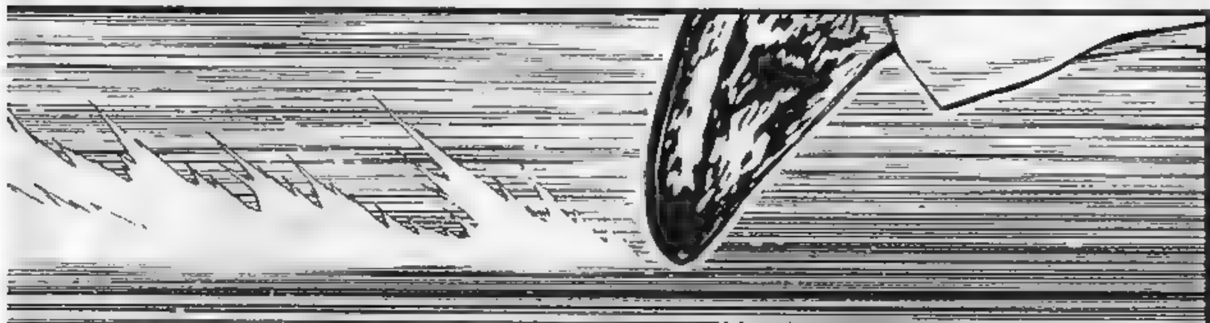
イヤヤヤヤーーッ!






回避！開脚着地
なんたるニンジャ柔軟性か！



ドグサレッガー！
上級ヤクザスラングだコワイ！


ソニックカラテ・
前蹴り
ランダム回避!

ソニックカラテ・
裏拳
ブリッジ回避!

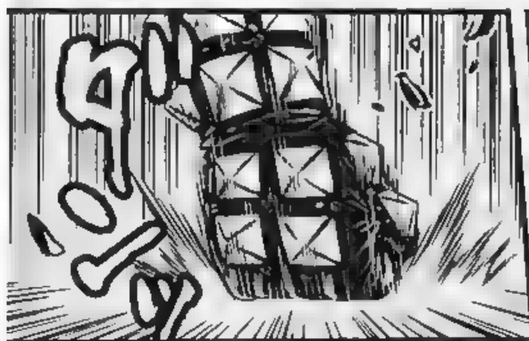

筋組織
断裂!



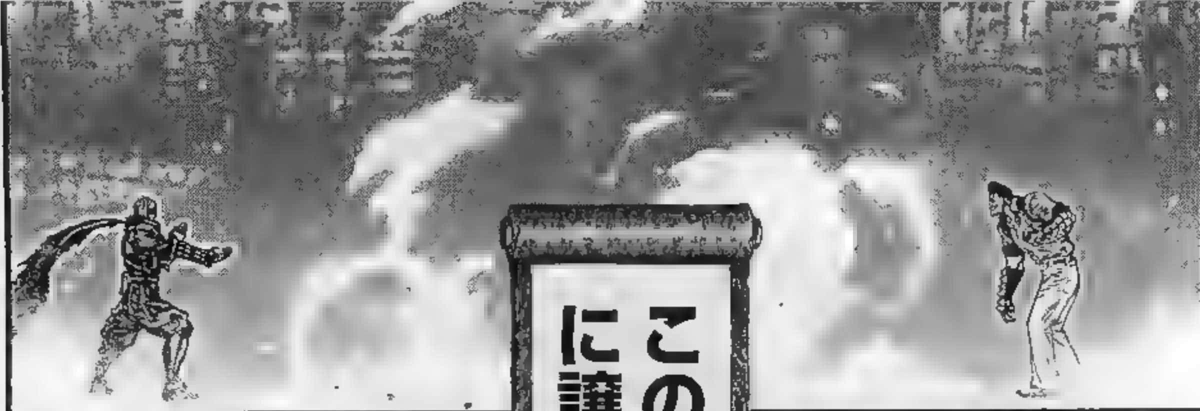

だが
ソニックブームのニンジャ耐久力はこれに耐える！

ソニックカラテ・膝蹴りだ！



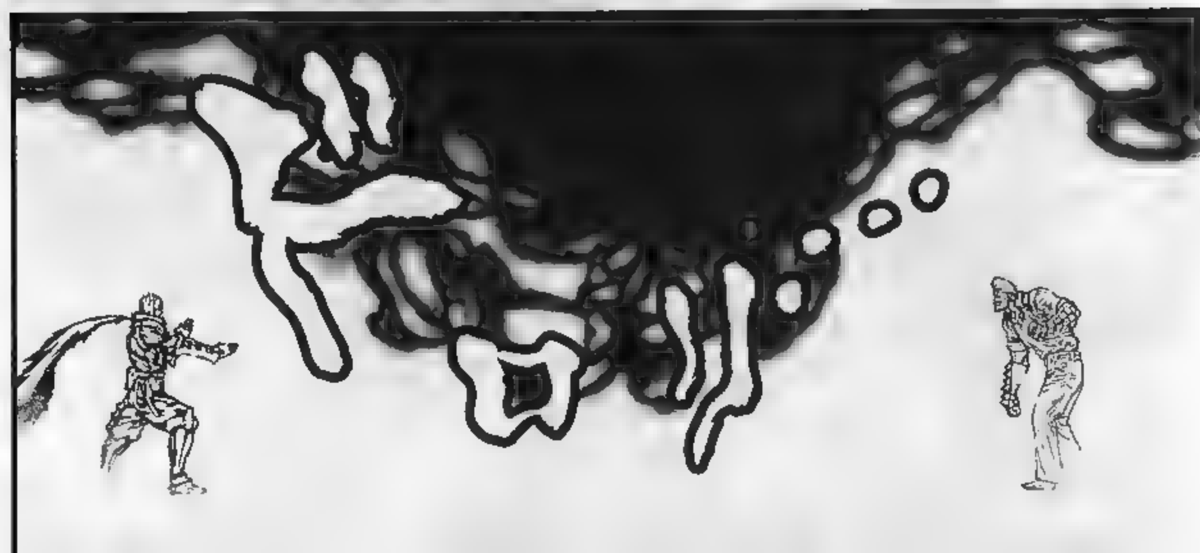





この勝負 互いに譲らずだ!




……フジキド……フジキド……



ニンジャスレイヤーは己の内なる声を感じる



ナラク・ニンジャの胎動を

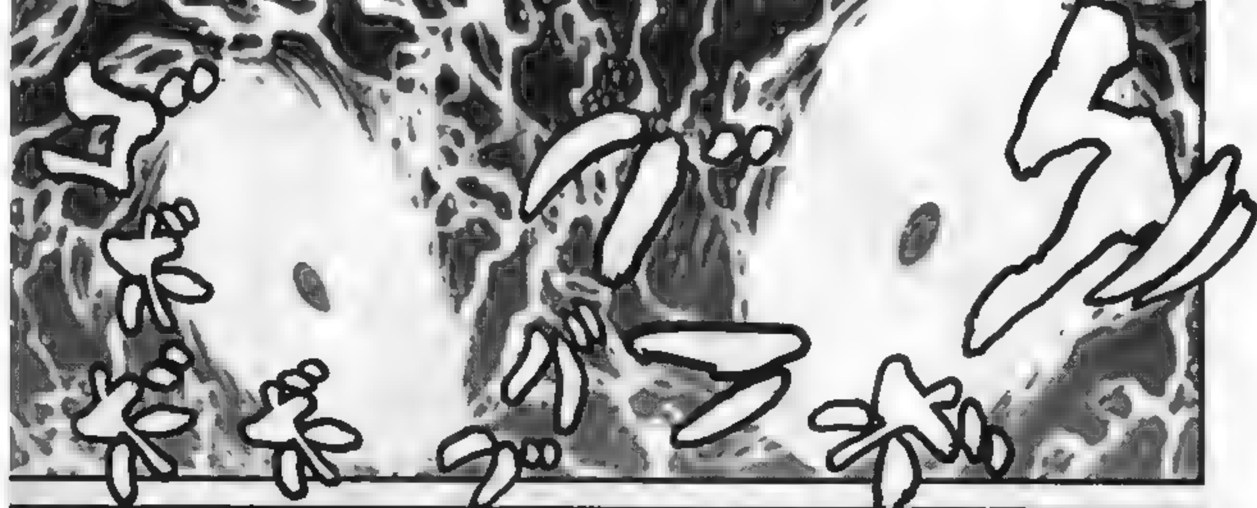





黙れナラク！
グッグッグッグッ
オヌシにインストラクションをくれてやろう


ソニックカラテを封じたくば
ワン・インチ距離で常に戦え
さすれば衝撃波恐るるに足らず
実際この戦術で技の殆どを無力化された事で
カゼ・ニンジャ・クランは大きく落ちぶれた……


愉快っ
愉快い
いいっ



ナラク・ニンジャの意識は再び水面下へ沈んでいく



時間の感覚が戻る！




ソニックカラテ・
対空ポムポム
パンチだ！
イャー
BOOOM
思った通りだ
エエッ
ゴウランッ
ガ
オリ

回避動作を学習しての対策的攻撃！

迎撃すべし！

先ほどより回転を増したスリケンで衝撃波相殺！

完全ではなくさらに裂傷！

が！

そんな事を気にするフジキドではない！





取れない!

ワン・インチ距離を維持!

維持!

ザッケンナコラー！！

この距離では衝撃波で俺様にも同等かそれ以上のダメージ

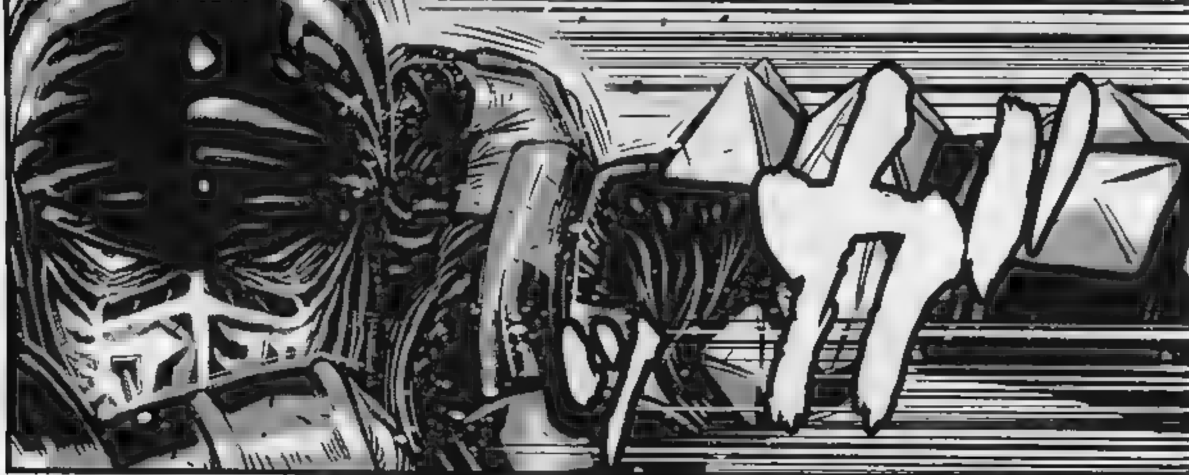
こいつそれを！

ナムサン！

ソウカイ・シックスゲイツを

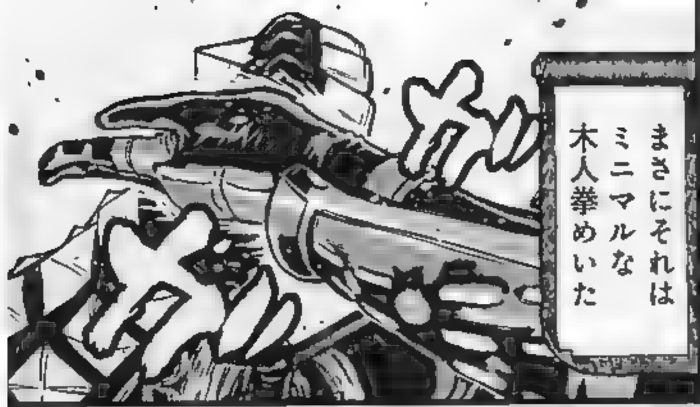
ナメるなよっ

そう このソニックブーム
ナラクの知る古代ニンジャ戦士とイコールではない！


ガッ







目まぐるしい攻撃！

そして防御の
構築美めいた…


ド

小宇宙！




スゴイ…
あれが本物のカラテ
ニンジャのイクサ…


わかる
ピク
アタイの内に溶けたはずのソウルが必死に活力を巡らせているのが……

何のために？


……ここから……
…逃げ出すため？


ゴリ


…それとも…っ


打ち合いを
制したのは
ニンジャ
スレイヤーだ！






無慈悲！


この一撃で眼球を摘出するつもりが……
傷が浅い！




ヌッ
覚悟の一撃か！

ド!!!!!







イヤーッ

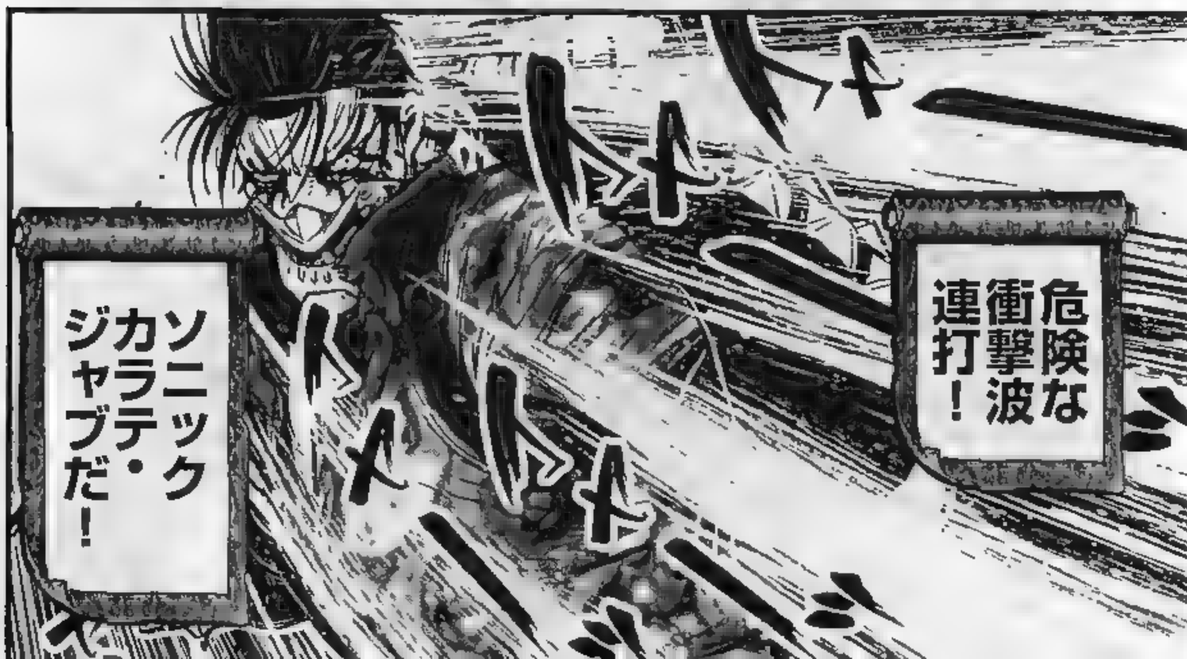
バガァァ

ザンッ

ゴゴゴゴ…

両者の
カラテの差が






だが
ニンジャスレイヤーのジュー・ジツは


既にソニックカラテに適応し始めていた

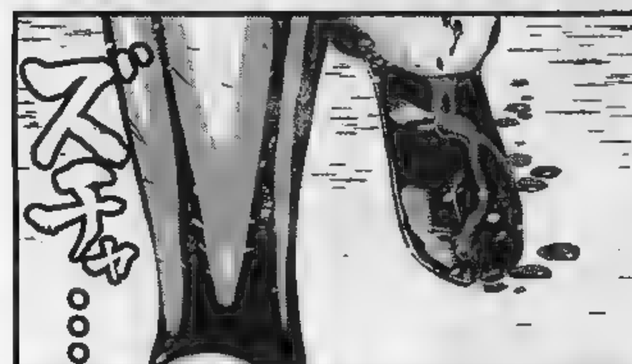

なぜだ！
なぜ当たらない！


「沢山撃つと実際当たりやすい」
というのは有名な江戸時代のレベリオン・ハイクであるが
ニンジャのイクサにおいてはそうはいかぬもの！
ザッケンナ　コ…


ドグワァァッ


既に勝負あったということだ
ズチャ
ズチャ
先程の一撃で私を仕留められなかったオヌシの負けだ
ボタタ
ビチャ


ズチャ…


ズチャ…


ス…

ハイクを詠めソニックブーム＝サン

ザッケンナ
ザッケンナ
ザッケンナ
ザッケンナ
ザッケンナ
ザッケンナ
喰らわせてやるぜ
エエッ 最後の
捨て身の一撃！



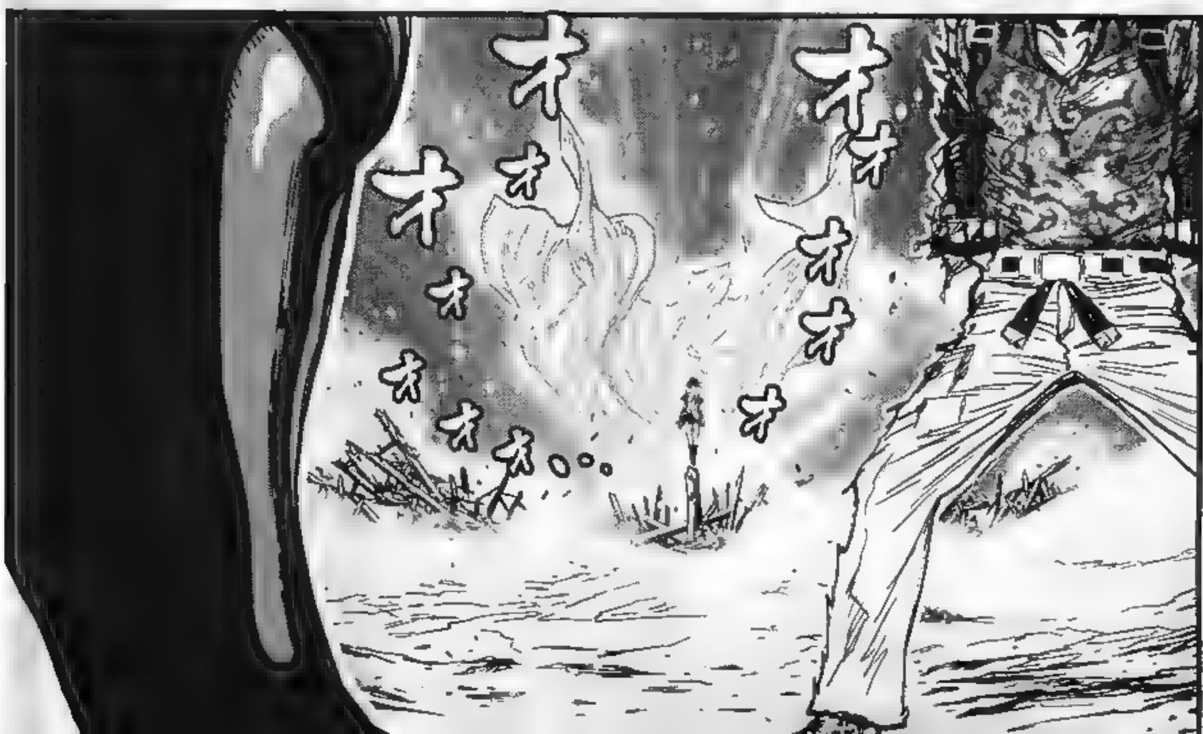

スッゾオラァ
ドグサレッガァ
コラァ
マントラめいたヤクザスラングを叫びつつ
構えるはソニックカラテ・中段ストレート！

しかしその時だ！



寒気と圧力が突風めいて押し寄せ ソニックブームは集中を破られた





ヤモト・コキである！

彼女の瞳にはいま再び桜色のニンジャソウルの光が宿る


そして
その頭上には
ドドドドドド
屋台から剥がされた
巨大なカーボン
ビニールシートが
旗のように翻る…！

テメェまだやる気か……

テメェ……

ザッケンナコラー!

なんだそりゃあ

オリガミじゃやねぇぞっ

その恐るべきオリガミ・ジツは

ひとつの巨大な具体的形状を
作り上げようとしている!


おお…ゴウランガ…
ゴウランガ！

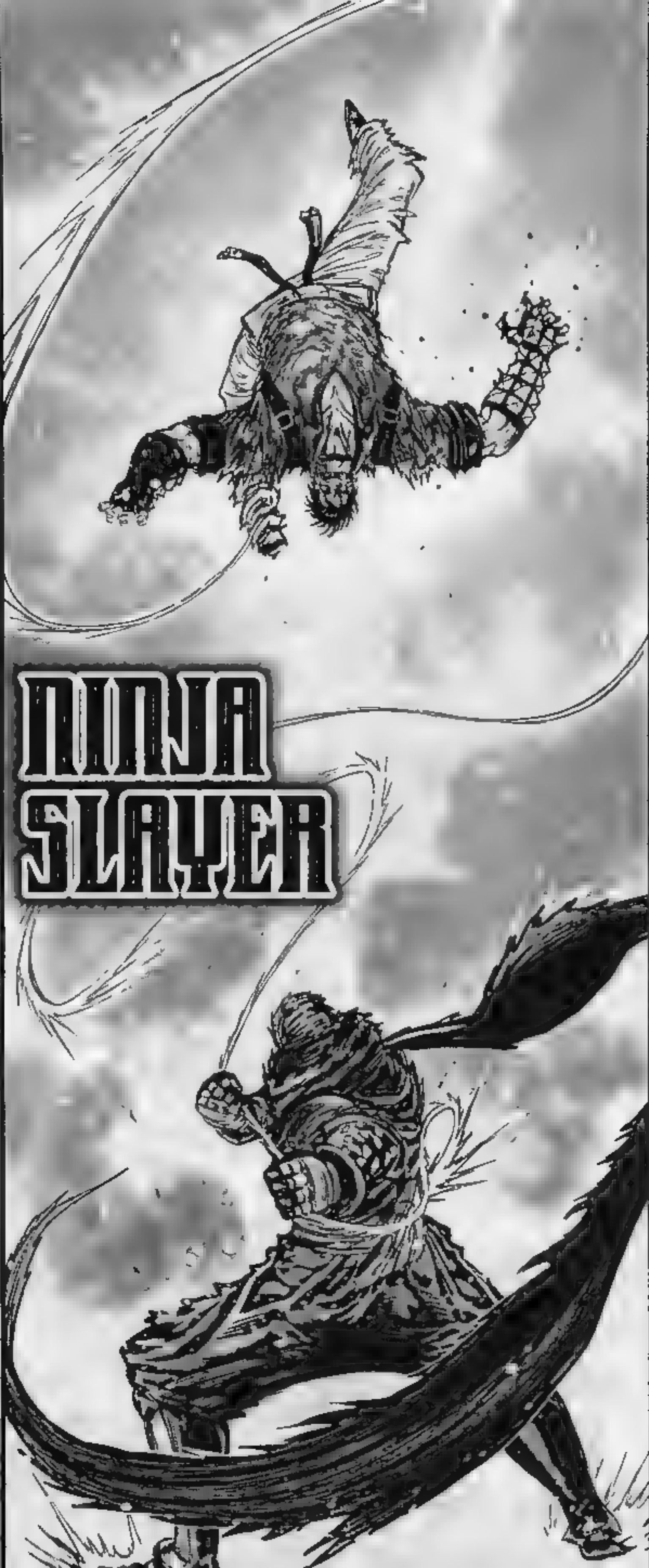


ドウグ社製カギつきロープが絡みつき

オヌシの相手は私だ

ニンジャ腕力で引き戻す！

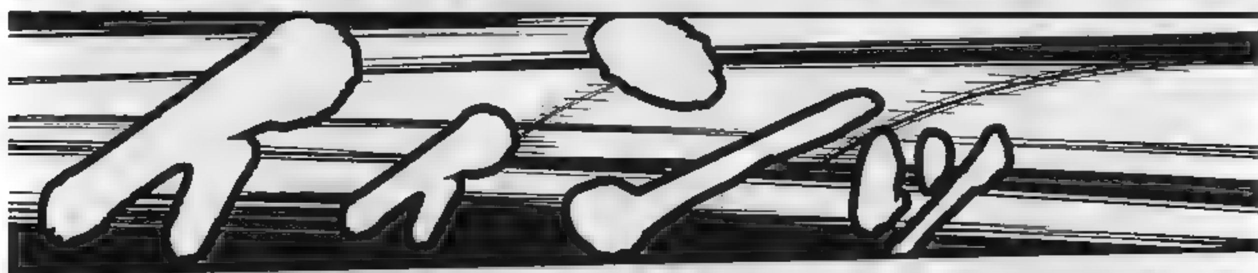
ラスト・ガール・スタンディング #6



巻き上げ機構が加味され ワイヤーアクションめいて宙を飛ぶ!

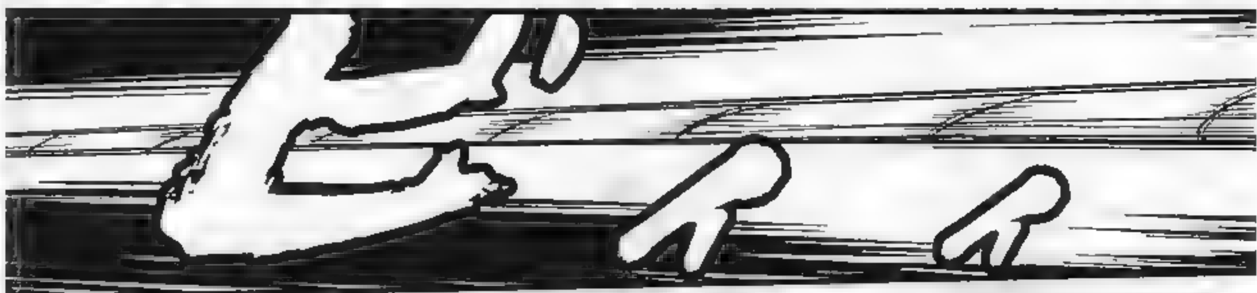






非情！











無慈悲な
オリガミ・シルエットを見せる……


フェニックスの

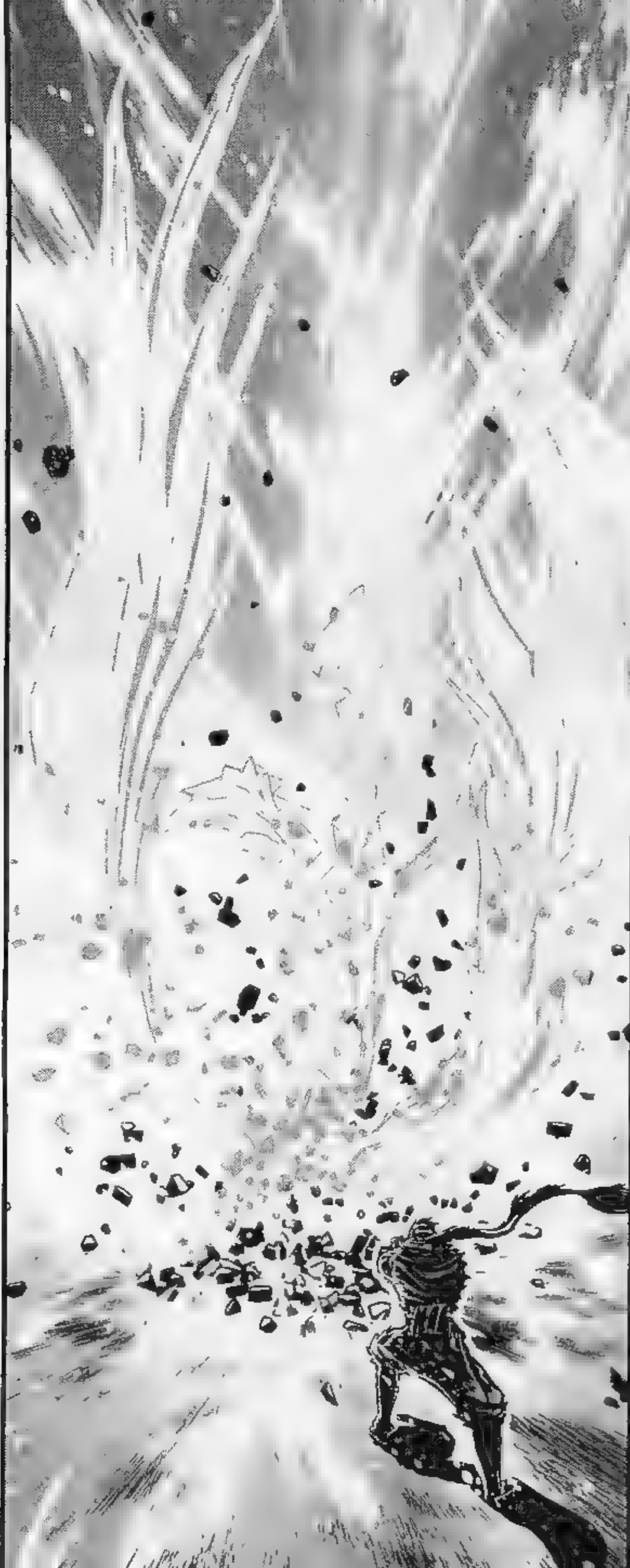


逃れられぬ死を前に彼の胸中を満たすのは
ヤクザ・バウンサー時代
ニンジャ時代
無残に殺めてきた弱者達の
死に際の顔……

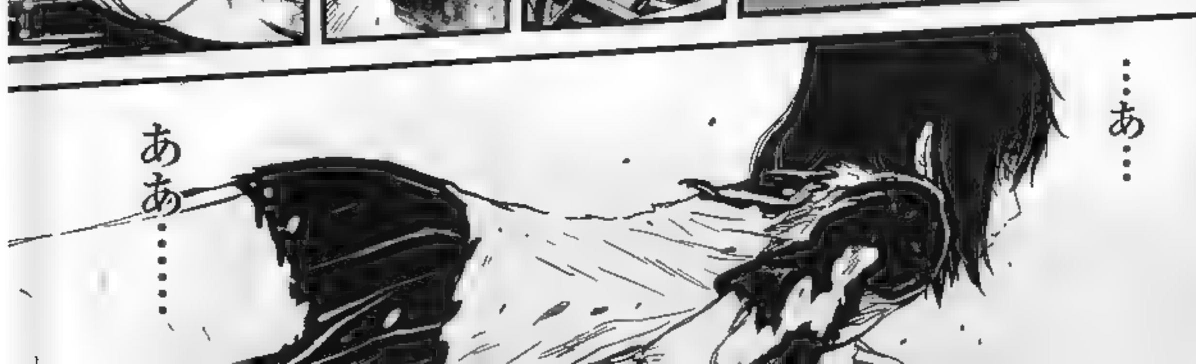
……行け！

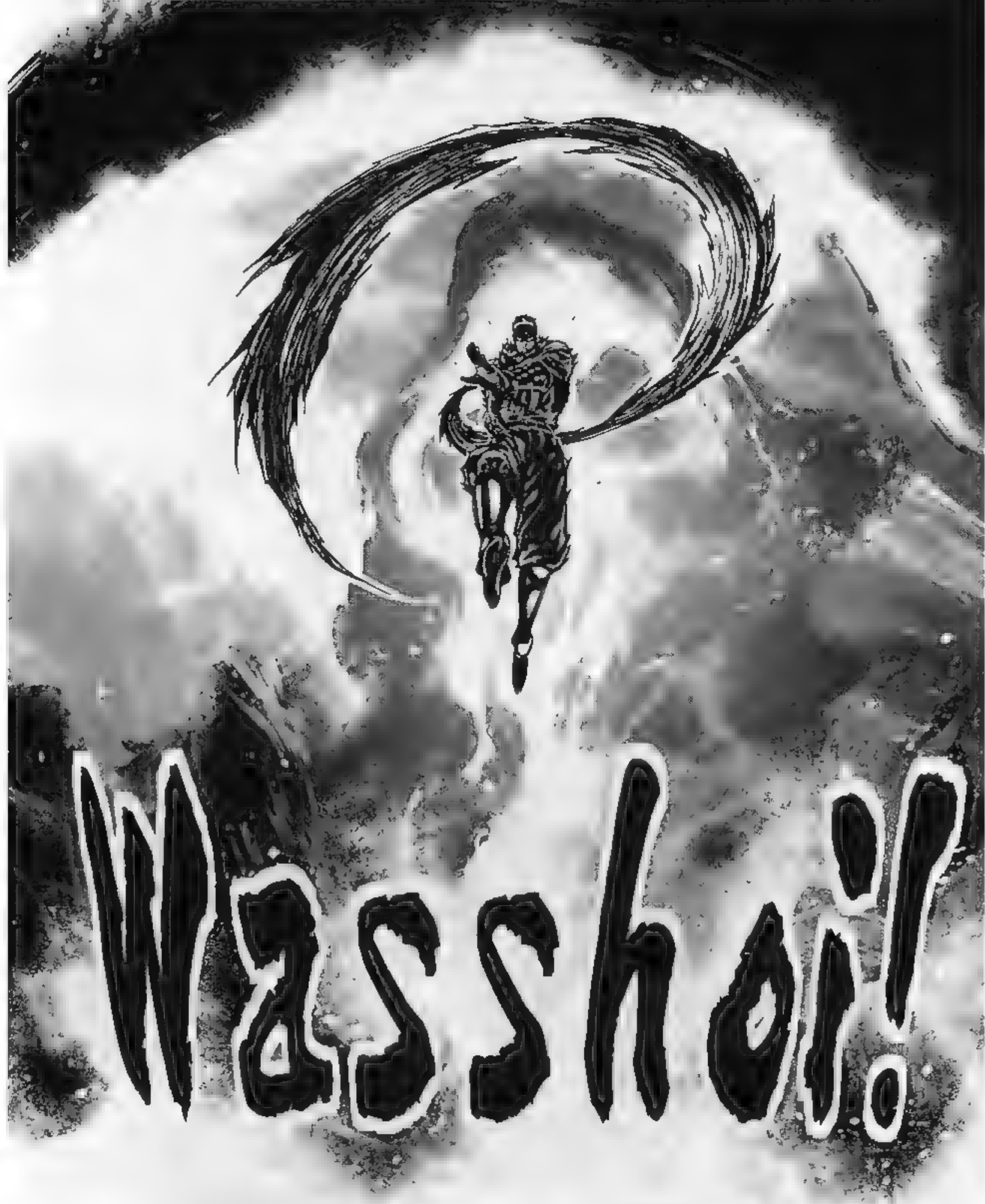

…サ……






ド
……う……


あ……
ああ……


Wasshoi!

本物の
死神だ




……ドーモ
ニンジャスレイヤーです

ドーモ…
ニンジャ…スレイヤー…=サン
…ヤモト・コキ…です…


……………
道中のクローンヤクザあれをすべてオヌシ一人でやったのか



アタイが…やった 攻めて…きたから
でも…もう… 無理みたい…




そのようだな

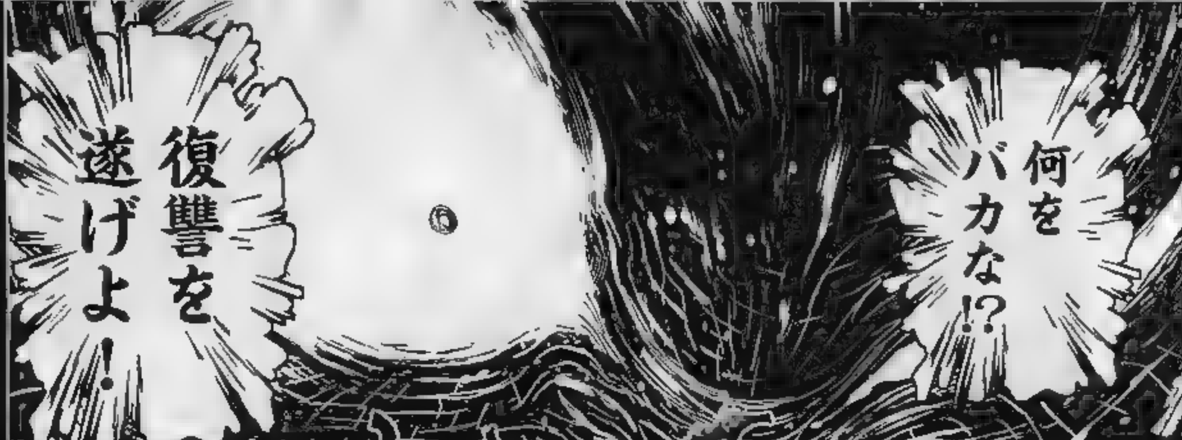





うっ
ヌウッ…

殺せ
ブジキボジ・ニンジャ
このごろつっぱを
コヤツに憑いておるのはだ
許せぬ敵
ワシはコヤツをよう知っておる

消耗しきった今ならば
こんな容易い仕事は無いぞ
さあ殺せ…


何をバカな!?
復讐を遂げよ!

妻と
子の


フユコ…
トチノキ…
復讐? この娘を殺すことがか
コヤツはエンジャぞ

全てのニンジャを殺せ！

オヌシは考え違いをしている
私はオヌシの欲望ではなく
私の目的を果たすのだ

この娘はソウカイヤに連なる者では
無い！

失望させるな

フジ。
キド



全てのニンジャを殺さぬか！
殺せ！
殺せ！
殺せ！

ドラゴン・ゲンドーソーの封印



ブラックヘイズとのイクサにおける精神的制圧を経てなお



いまだに残るこれほどの暴威！


行け！


でも…


早く！早く行け！
いつまで保つかわからねぇ……ッ
行けよ！
かまわず行け！









黙れ

手抜かりなど無い
これまでも これからも

生かせばいずれ禍根を残すぞ

見ておれ

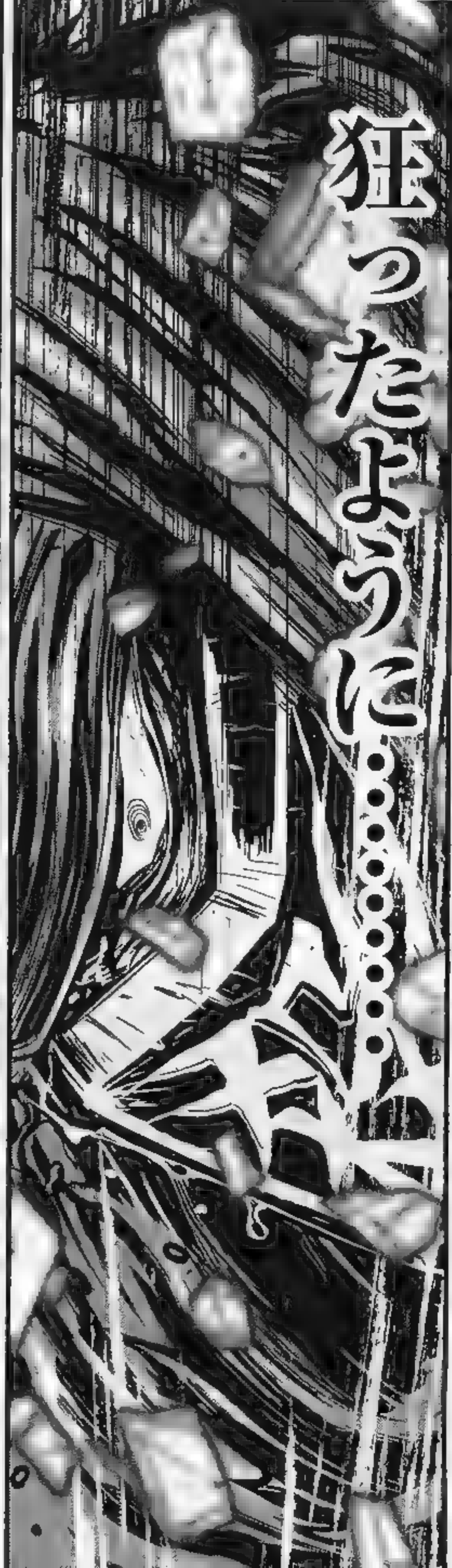
ならばその時に殺すだけだ！

ニンジャスレイヤーは地面にチョップを叩きつける

ドカ

繰り返し

繰り返し



日刊コレワ 毎日デテイマス

怪奇失踪 つなぐ点と線

ただの偶然というにはあまりにも・・・

学園治安崩壊の魔の手はあなたの街にも忍び寄る。キョート独立国リパブリックのとある進学校で校舎屋上から飛び降り自殺をはかったXXが、ネオサイタマのアタバキ高校に転校。そこで他校ヤンク生徒と暴力事件を起こし収監されたというのだ。なんたる事件と隣り合わせの人生！

しかも驚くべきことに、XXの飛び降り自殺行為に巻き込まれ負傷、奇跡的な回復を遂げたYYも、同じアタバキ高校に転校していたのである。これが偶然なのだと誰が信じようか？どちらも複雑な家庭環境を…ち、身寄りは無く、…XX収監の翌週に、YYは…

この二つの事…ひとつ言えるのは…来事を起こるが…政府の無能であ…から守るには…して政権交代だ…

しかもXXの飛び降りに巻き込まれ負傷、奇跡的な回復を遂げたYYも

エト

エト

あのね

同じ高校に転校していたのである。

どちらも複雑な家庭環境を背景に持ち

これが偶然だと誰が信じようか？

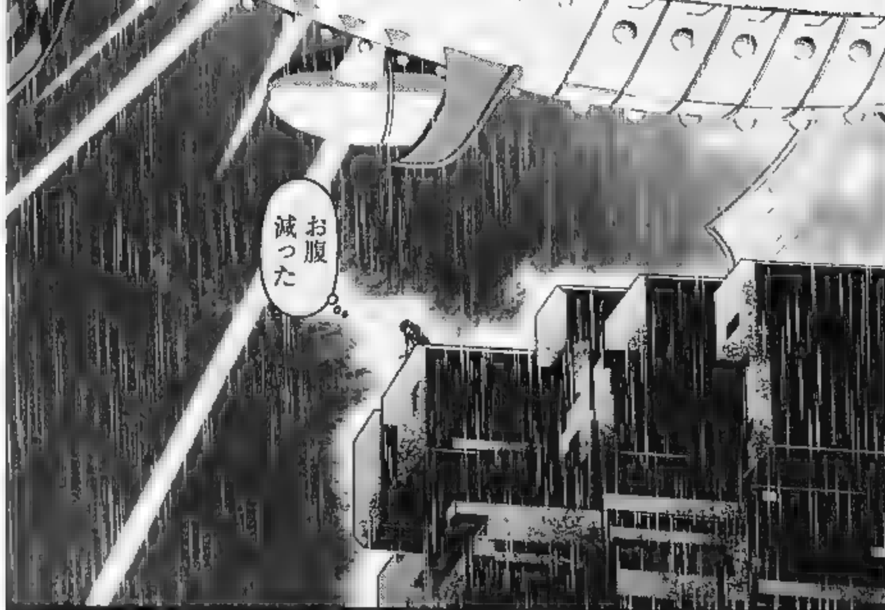
身寄りは無く

そして震撼すべきは、XX収監の翌週に、YYは失踪したのである。






ザァァァァ
ザァァァァ

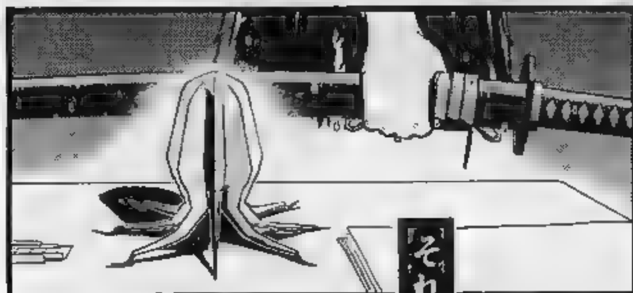

お腹減った


口座残高0円
ハッキング?
ソウカイヤの仕業……
手持ち少ないな
カラオケ代払ってたらやばかった
ゴメンナサイ
着替えたい
シャワー浴びたい
疲れた


あいつらいつまで見張ってるんだろう
……あ…


あきらめ…た?
ブロロロロ


短かったな
このアパート

それは…あの日

ラァ…
ヒッ
ラ…ラ…ラ…
ヒッ


ヤモトが折ってみせた
四つのオリガミの片割れだ




コンコン
ビクッ


ベランダから
ノック音
コン
ここは
三階である


アサリは一瞬
それを恐れた
だが


すぐに
思い至る


ダダダッ

ヤモト＝サン！




ドーモ
アサリ＝サン
アタイは大丈夫……
……………


今日はアイサツに
来たんだ
アイ
サツ？
ねえ
お茶を
淹れるよ
入って
…ゴメン
今ここで長居すると
辛くなるから…


アサリはヤモトが
別れを告げに来た事を理解した
アタイ
一緒にいたら
アサリ＝サン達に
迷惑をかけてしまう

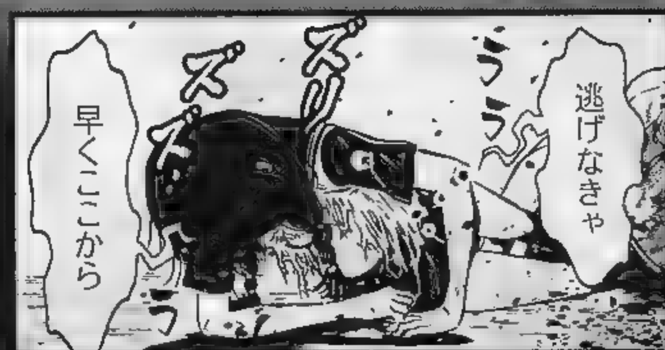


ヤモトの身に降りかかった異常な事態も



あの日の繁華街の路地裏での出来事も







彼女は はっきりと見ていたのだ


違う
違うっ
こんなの
私じゃない


違うっ
やめてよ
お父さんっ…
私は死神
なんかじゃ
ないっ


戻して…
帰してよっ…
ハッ
ハッ


ヤモト＝
サン…


ヤモト＝
サンっ



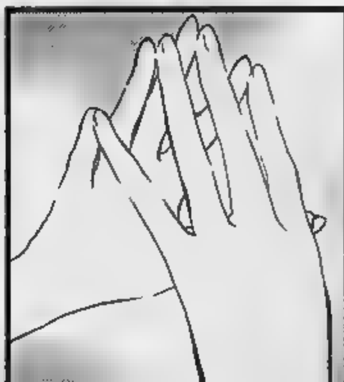


――だから…









ううん

――きっと帰ってくる

アサリ＝サンに何かあったら

どこからでも駆けつける

サヨナラ

ユウジョウ！

ユウジョウ!



ヤモトが夜の闇にかき消え 見えなくなった後も



アサリはベランダに出たまま　夜風に吹かれていた

【ラスト・ガール・スタンディング 終わり】

【ニュー・メッセンジャー・オブ・ホワット】


窓から
フクロウになって
フクロウ?
殺せよ ソウカイ・ニンジャ
命令できるザマか お前


ふざけるな!
命を吸って…!


!
残念
ドイン
ドイン
あいにくカロン・ニンジャってのは嘘…
お前は俺のせいで生き存えちまう


やめろ
オオオオオ
やめねぇ


ドーモ はじめまして フィルギアです


ソウカイヤじゃねぇのか
ドーモ スーサイドです

さて そろそろ
給油オシマイ
これ以上は
俺が死んじまう…
立てよ
キアイ
だぜ
ザッ
……
ゴロ…
どれだけこうしてたんだ
…あいつは
あいつ
女子高生か?
その友達?
それともあのおっかない
ソウカイ・ニンジャかね?
後の祭りさ
クソッ!
なんで助けた
なんでも
いいさ
だが 実際
これは貸しだ
何者だよ
……
俺はお前の
トーテムだ
汝に啓示を
与えん









フィルギアの姿が影めいて歪み

一瞬後そこには一匹の獣がいた

ビビんなよ

人語を発する
コヨーテだ

こういうニンジャも
いるって事さ……

コワイ!

今更マッポと
ケンカしても
つまらんぜ

ついて来いよ

ついて
来いか…

ロクな未来じゃ
ねえだろうな

ハハ

【ニュー・メッセンジャー・オブ・ホワット 終わり】


キャクホン
タバタヨシンキ
マンガスタッフ
サクガ
ヨブユウキ
アシスタント
アシスト ヤマダ
モリ
ライトニングオオニシ
スペシャルサンクス
イズミタニアユミ
ナカスリーディーセイサク
リージン

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース

ニンジャスレイヤー③
～ラスト・ガール・スタンディング（二）～

原作
ブラッドレー・ボンド＋フィリップ・N・モーゼズ

漫画
余湖裕輝（よごゆうき）

脚本
田畑由秋（たばたよしあき）

原作翻訳・漫画版監修：本兌有＋杉ライカ
キャラクターデザイン：わらいなく＋余湖裕輝

2014年11月10日初版発行

発行者
堀内大示

発行所　株式会社KADOKAWA
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8521（営業）
http://www.kadokawa.co.jp/

編集　角川書店
〒102-8078 東京都千代田区富士見1-8-19　電話／(03)3238-8661（編集部）

カバーデザイン
高田裕

本文デザイン
Bee-Pee

印刷
図書印刷株式会社

製本
図書印刷株式会社

初出／『コンプティーク』'14年6月号～9月号

ISBN978-4-04-101674-9 C0979